

09/01・インド、消費・サービス好調 4~6月 GDP7.8%増 インフレの影響注視 <1>

- ・BRICS 拡大、早くも暗雲 アルゼンチン野党が参加反対
- ・習氏「G20 見送り」報道 米大統領「出席に期待」

09/02・米雇用、8月 18.7万人増 失業率 3.8%、過熱感薄まる

- ・「隠れ債務」対策に 30兆円 中国、地方債の発行枠 借り換えで返済負担減 <2>
- ・中国公表地図に東南ア反発 南シナ海大半を領海扱い 首脳会議前に疑心暗鬼  
インドも係争地巡り抗議
- ・ブラジル GDP3.4%増 4~6月、穀物生産が拡大 10 四半期連続プラス <3>

09/03・米景気軟着陸 高まる期待 雇用伸び鈍化、コロナ前水準に <4>

- 市場、利上げ終結の見方増加 消費の持続力焦点
- ・EV 輸出、中国比率 8 倍 5 年で BYD や東風、けん引

09/04・NATO 加盟国 国防費増に苦戦 「GDP2%以上」達成は 3 分の 1 財政厳しく

- ・ウクライナ国防相更迭へ ゼレンスキー氏声明 汚職疑惑で問責か

09/05・消費支出 5 ヶ月連続減 7 月 5.0%マイナス 食料落ち込む

- ・ASEAN 首脳会議開幕 南シナ海問題焦点 ミャンマー対応も議題に  
グローバルサウス主導狙う 「結束を」呼びかけ

09/06・中印、主役の座巡り神経戦 習主席、異例の G20 欠席 権威維持へ内向き強める

- ・サウジ、年末まで減産延長 原油 10 ヶ月ぶり高値 インフレ再燃懸念 <5>  
世界経済揺さぶる ロシアと足並み、米を挑発 市場支配力を誇示
- ・円下落、147 円台後半 米金融引締め長期化観測

09/07・ASEAN、米中に不信感 バイデン氏欠席 中国「地図」に反発

- ・インドで「国名変更」論議 G20 関連招待状に「バーラト」ヒンズー至上主義反映か
- ・中国、焦げ付く「一带一路」 コロナ影響、沿線国の経済不振 <6>  
提唱 10 年、投資額は縮小 原資の外貨準備横ばい
- ・米、劣化ウラン弾を供与 ウクライナに 10 億ドル支援表明

09/08・ASEANに投資5.6兆円 首脳会議閉幕 実利優先、港湾など93件

安保議論は素通り バイデン氏欠席に失望感

- ・円売りに弾み147円台後半 海外と金利差拡大22年ぶり 政府、口先介入を強化
- ・中国の貿易黒字4ヶ月連続縮小 8月 人民元、15年9ヶ月ぶり安値
- ・実質賃金7月2.5%減 16ヶ月連続マイナス 下落幅が拡大
- ・アップル時価増額28兆円減 中国政府「iPhone禁止」報道で <7>

09/09・ゼロゼロ融資や社保猶予 コロナ特例終了 資金繰りの壁 <8>

8月 企業倒産、最大の54%増

- ・人民元15年9ヶ月ぶり安値 対ドル、米との金利差拡大で <9>  
中国、過度な変動阻止へ 輸出低迷も一因
- ・欧州、ウクライナ支援倍増 米国超える累積20兆円 軍事・人道で長期枠組み

09/10・G20サミット開幕 「経済成長と安定に逆風」首脳宣言を採択 <10>

インド主導、侵攻に避難無し ロシアへ配慮にじむ アフリカ連合加盟で合意

再生エネ30年までに3倍

- ・インド・欧州間輸送網、中東経由 米・EUが支援へ インフラ整備、中国対抗

09/11・李強氏、国際会議デビュー 中国首相、個別会談少なく

- ・インド国名「バーラト」表記 首相、呼称変更へ本気か

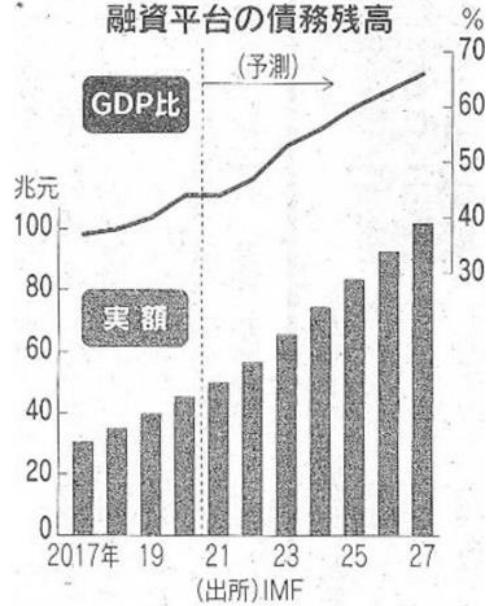
09/12・グローバルサウス G20主導に手応え 西側・中ロに妥協迫る

- ・イタリア「一帯一路」離脱へ 習氏不在、中国影薄く
- ・米、対中でベトナム接近 ベトナム、両国関係「最上位」に昇格 <11>  
南シナ海安保抑止期待 首脳会談、半導体で思惑一致
- ・米消費者59.8%「ローンが困難に」 8月調査、比率最高

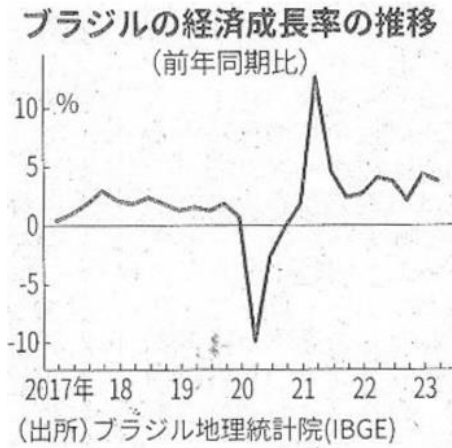
<1>



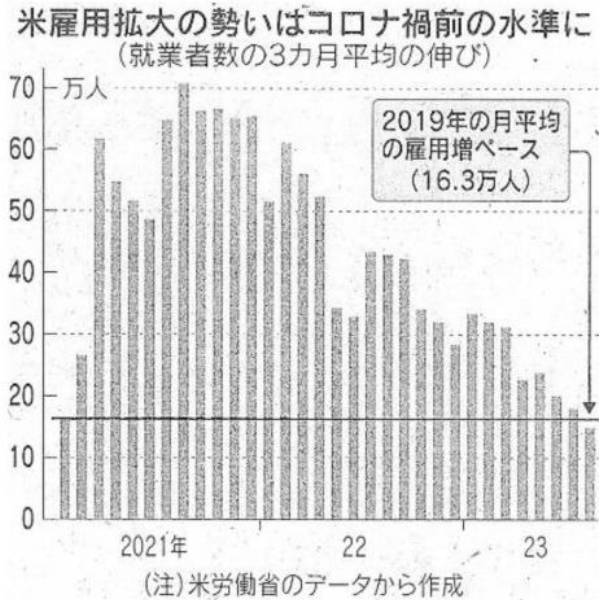
<2>



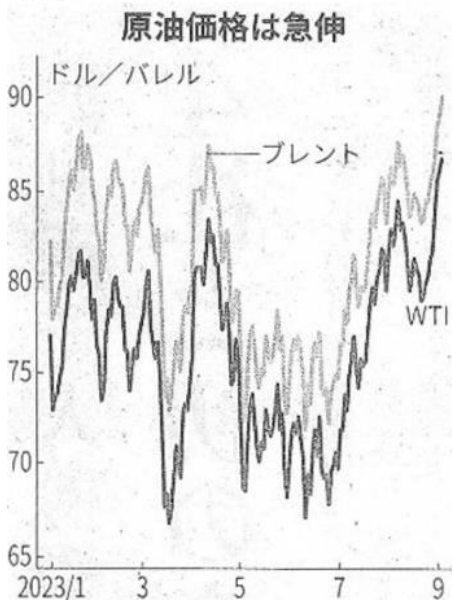
<3>



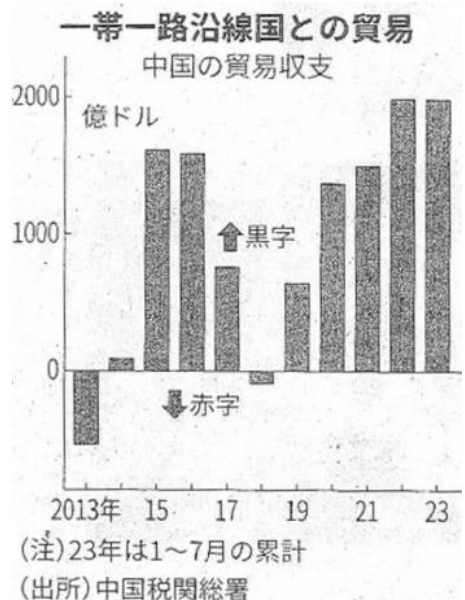
<4>



<5>



<6>



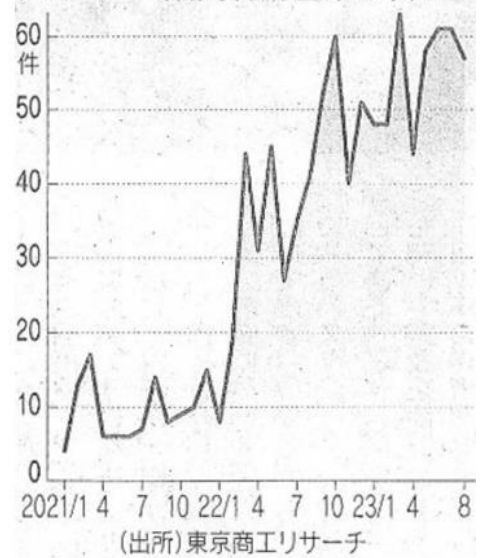
<7>

中国に関する報道後に  
アップルの株価は下落した



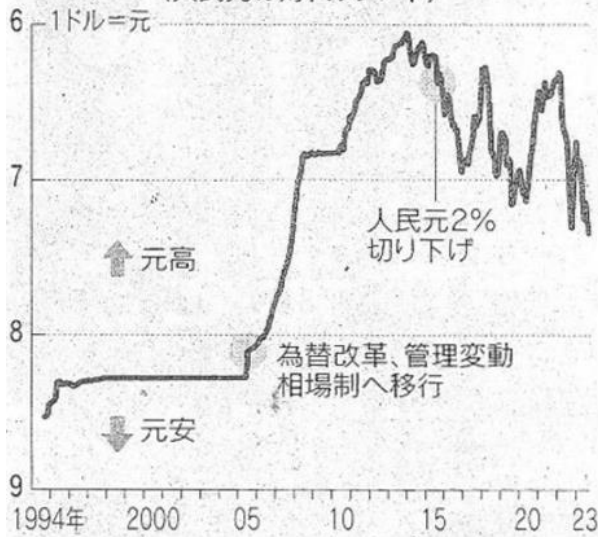
<8>

ゼロゼロ融資利用企業の倒産



<9>

人民元は2007年12月以来の安値をつけた  
(人民元の対ドルレート)



<10>

首脳宣言の主な内容

ウクライナ侵攻
・領土獲得を目的とした武力行為は慎まなければならない
・核兵器の使用や威嚇は許されない
・ウクライナでの戦争を巡る事態に対する見解や評価は様々だった
経済
・世界経済の成長と安定に逆風が続く
・債務の脆弱性を悪化させる世界的な金融引き締めはリスク
食料安全保障
・ロシアとウクライナに即時の穀物・食料輸出を求める
気候変動
・石炭火力の段階的な廃止に向けた取り組みを加速する必要がある
・途上国の脱炭素化を支援する
・2030年までに再生可能エネルギーを3倍にする

<11>

ベトナムの外交関係



(注)カッコ内は締結年、「戦略的」「包括的」は主要国のみ